

グループホームハーゼ 第1回地域連携推進会議議事録

1. 日時

令和7年11月1日(土) 10:00～11:30

2. 場所

グループホームハーゼ(神奈川県鎌倉市大町4-14-6)

3. 出席者(10名)

- ・ 利用者代表 鈴木 祐一さん
- ・ 地域の関係者 中村 哲也さん(鎌倉市議会議員・大町四丁目自治会会長)
- ・ 地域の関係者 飯島 和夫さん(大町四丁目自治会副会長)
- ・ 地域の関係者 飛鳥 敬祐さん(大町四丁目自治会副会長)
- ・ 地域の関係者 辻 富子さん(大町四丁目廃棄物減量化推進員)
- ・ 市町村担当者 寺山 明さん(鎌倉市障害福祉課課長)
- ・ 事業所 野田 周吾(管理者)、矢部 好恵(サービス管理責任者)、
竹内 頌(副管理者、サービス管理責任者)、吉田 洋子(世話人・生活支援員)

4. 議題

- (1) 出席者紹介
- (2) 事業所紹介
 - ・ グループ ホームハーゼ(共同生活援助)の概要について
 - ・ 利用者の日常生活の様子について
 - ・ 支援者(スタッフ)の就業状況について
- (3) BCP(業務継続計画)の策定及び訓練状況について
 - ・ 災害時の避難計画等について
 - ・ 訓練状況及び研修状況について
- (4) ヒヤリハット等の報告
- (5) 質疑応答・意見交換
- (6) 事業所見学

5. 議事

- (1) 出席者紹介【順番に自己紹介】
- (2) 事業所紹介【配布資料にて説明】
 - ・ 現在の定員(利用者)は7名で、スタッフは8名で運営している。
 - ・ 共同生活援助は障害者総合支援法に基づいて運営している。
 - ・ 地域連携推進会議は令和7年度から義務化され、利用者と地域の関係づくり、地域の人への事業所や利用者に関する理解の促進、事業所やサービスの透明性・質の確保、利用者の権利擁護といった目的がある。

- ・ 基本的に、利用者は就労のため日中は外出している。
- ・ スタッフは、夕方１６時～翌朝８時まで勤務しており、曜日によっては日中（９時～１２時まで等）に勤務している。

< 質疑応答 >

(ア) 共同生活援助はなぜ“訓練”等給付に位置付けられているのか。

生活の場を提供するだけではなく、地域で自立した生活を送るための訓練や支援を目的としていて、法の基本理念にあるとおり、どこで誰と生活するかの選択の機会が確保され、地域社会において他の人々と共生することを保障するために“訓練”という位置付けになっている。

(イ) 利用者の皆さんは土日休みなのか。

就労先も異なるため、シフトもそれぞれ違いがあり土日に勤務されている方もいる。

(ウ) スタッフの方は２４時間ごとに変わっているのか。

夕方１６時出勤を基本とし、宿直明けの早朝勤務後の８時に退勤するため、日勤や翌日の夕方勤務のスタッフはそれぞれ異なっている。

(３) B C P（業務継続計画）の策定及び訓練状況について【配布資料にて説明】

- ・ グループホームハーゼが有する災害リスクとして主に土砂災害が挙げられる。
- ・ 地震や土砂災害発生時は、福祉避難所の名越やすらぎセンターへの避難を想定している。
- ・ 一時避難場所として、土砂災害リスクのない徒歩１分圏内の空地へ避難を予定している。
- ・ 毎年大町四丁目自治会の防災訓練に参加させていただいている。
- ・ グループホームハーゼ内でも、夜間の避難訓練等の実施をしている。
- ・ 動画研修システムを用いて B C P に関する研修を実施している。

< 質疑応答 >

(ア) 名越やすらぎセンターを避難場所としているが、土砂災害時はアクセスできない可能性が高いことと、状況によっては受け入れてもらえない可能性があるのではないかと。安国論寺が避難先として開放されるので、そちらの方が適切ではないか。

名越やすらぎセンターは距離もあるため、安国論寺への避難が可能かを確認し、必要に応じて B C P の見直しを行う。

(イ) 一時避難先の空地は私有地の可能性があるのではないかと。

空地手前にある二差路の道路上に変更する。

(４) ヒヤリハット等の報告【配布資料にて説明】

(５) 意見交換

グループホームハーゼがこういった場所なのかを知ることができてよかった。

今後防災訓練以外でも顔を合わせる機会をつくっていききたい。

回覧板などでグループホームハーゼの紹介をすることができたらよいのではないかと。

自治会の役割等は毎年代わる可能性があるため、地域の他の人（今回の出席者以外）にも見てもらう機会があってもよいかもしれない。

グループホームハーゼ側からも地域にどのように関わっていききたいのか今後も教えてほしい。

地域の人を交えて話す機会の重要性を改めて感じる事ができた。

(６) 事業所見学

備蓄品倉庫、食堂、世話人室等をご案内した。また、中庭にある井戸水（生活用水）については断水時等に地域の皆様にも利用していただきたい旨の共有を行った。